

< ラテン文学語釈語法研究 >

羅英対訳
詳註 『変身物語』を読む (IV-1)

鈴木 利 久

ラテン語の関係代名詞は英語のそれより遙かに縦横に駆使される。ラテン語では、どの関係代名詞を用いるかは先行詞が人か物や動物かではなく、先行詞の性(男性・女性・中性)と数(単数・複数)によって決まる。この全ての性と数で、主格、属格、与格、対格、奪格という格変化をするのでしばしば悪戦苦闘することになる。第四巻に使用されている表現を例として、その一端を紹介することにする。

ここでは先行詞を含む複合用法を取り上げたい。現代英語では関係代名詞の *what* がこれに当たるが、16~17世紀には英語にも *who* や *whom* などに同様の用法が存在し、シェイクスピアの作品には、次のような用例が見られる(斜字体は原典*)。

- ・ I will set this foot of mine as far/ As *who* goes farthest. (*Julius Caesar* I.iii. 119-120)
- ・ I shall unfold to thee, as we are going/ To *whom* it must be done. (*Ibid.* II. i. 330-331)
- ・ Thy honourable metal may be wrought/ From *that* it is disposed: (*Ibid.* I. ii. 313-314)

上の例を現代英語に直せば、それぞれ *one who/ one to whom/ that to which* となるであろう。

しかし現代英語ではこの用法は *what* に限られるし、用例も慣用句などを除けば三人称単数と複数で主語と動詞或いは前置詞の目的語になるだけだが、ラテン語の場合は使用幅も頻度も現代英語の比ではない。頻繁に用いられる主格と対格だけでも、男性・女性・中性のそれぞれに単数と複数があるので変化形は12に達する。また、含まれる先行詞が人称代名詞に相当する場合は、その人称も読み込まねばならないので複雑極まりない。

具体的な例を見てみよう(以下、斜字体は筆者)。

- ① *nam quae praecipue fuerat pia, "persequar" inquit*
"in freta reginam" saltumque datura moveri (551-552)

* 大塚高信 (1983) 『シェイクスピアの文法』(研究社) 65-66頁

これは典型的な例の一つで、女性単数主格の *quae* が *fuerat* と *inquit* の主語になっている。これらの動詞は三人称単数なので、隠れた先行詞は *ea*(= *she*) で、*quae* は *she who* に相当する。

② *quodque rogis superest, una requiescit in urna.* (166)

③ *quod caput ante fuit, summo est in monte cacumen,* (659)

これらの例では *quod* は中性単数主格で、②では *superest* と *requiescit* の、③では *fuit* と *est* の主語になっている。これらの動詞も全て三人称単数の活用形なので、この *quod* は *that which*(= *what*) の意と解る。

④ *causa comesque tui: quique a me morte revelli*

heu sola poteris, poteris nec morte revelli. (152-153)

この *qui* は上の例ほど単純ではない。ここでは *qui* は男性単数主格で *poteris* と *poteris* の主語になっている。しかし、男性単数主格だからといって関係代名詞に含まれている先行詞は *is* (= *he*) だと即断するのは禁物だ。というのも動詞の *poteris* と *poteris* は二人称単数の活用形だからで、この *qui* を英語で表現すれば *thou*(= *you*)*who* となる。

⑤ *ut, quos certus amor, quos hora novissima iunxit,*

conponi tumulo non invidetis eodem; (156-157)

この反復された *quos* は男性複数対格で、*iunxit* の目的語と動詞 *conponi* の意味上の主語になっているので、含まれている先行詞は *eos*(= *them*)、即ち *quos* は *them whom* の意である。ただ、この例の特徴は、含まれる先行詞が対格なのに関係代名詞が文頭に来ていることである。

このように、この用法では含まれる先行詞が対格でも文頭に来ることがあるし、逆にそれが主格でも文頭に来るとは限らないので、厄介この上ない。次の一節がその好例である。

⑥ *nempe, tuis omnes qui terras ignibus uris,*

ureris igne novo; quique omnia cernere debes,

Leucothoen spectas et virgine figis in una, (194-196)

ここで195行の *qui* は文頭にあるので判別しやすい。前述の通り *qui* は男性単数主格で *debes*, *spectas*, *figis* が述部動詞である。これらの動詞は二人称単数なので、*qui* は *thou*(= *you*)*who* であることが解る。面白いのは194行の *qui* だ。この *qui* は文の中間にある上、先行する *tuis* と *omnes* は *qui* を挟んで虹を架けるようにそれぞれ *ignibus* と *terras* を修飾している。しかし、この一節に

は qui の先行詞が見当らないのみでなく、文中の uris と ureris は二人称単数の動詞なので、この qui も thou(= you) who と解釈できる。次の例は更に興味深い。

- ⑦ inspirantque graves animas; nec vulnera membris
ulla ferunt: mens est, quae diros sentiat ictus. (498-499)

この quae は曲者で、手強い。この場合 quae は女性単数主格であり、直前に女性単数の mens (= mind) があるからだ。上述のように、どの関係代名詞を用いるかは先行詞の性と数によって決まるので、関係代名詞の性と数は先行詞の性と数に一致する。そこで勢い、この mens を先行詞ととって、quae は sentiat の主語で、est が述部動詞と考えてしまうのである。文法上はそれで何の問題もない。しかし、このように解釈すると「忌わしい打撃を被った（彼らの）心が存在した」というような妙な意味になってしまう。

それで例の通り「後ろから前へ」読んでみると、est は繫辞で mens はその補語（又は主語）と観ることもできる。そうなると quae は複合用法で sentiat の主語になると同時に est の主語（或いは補語）にもなると考えられる。ここでも重要なのは、quae は女性単数主格だから含まれる先行詞は ea だといっても、それは she ではないということである。ここで quae が用いられているのは女性単数の mens に一致しているからで、動詞は共に三人称単数なので、quae は that which (= what) の意と看做すことができる。そのように読めば、この件は意味も「忌わしい打撃を被ったのは（彼らの）心であった」という自然なものになる。

以上の例から解るように、この用法では先行詞が見当らないこと、大半の例で関係代名詞を受ける動詞が二つ（以上）あることで、細心の注意を怠らなければ痛い目に遭うことは多くない。しかし、最後に引いた一節に見られるようにラテン語はここでも変幻自在なので、いつも感覚を研ぎ澄ませて一字一句読み解いていかなければならない。

LIBER IV

AT non Alcithoe Minyeias orgia censet
 accipienda dei, sed adhuc temeraria Bacchum
 progeniem negat esse Iovis sociasque sorores
 impietatis habet. festum celebrare sacerdos
 inmunesque operum famulas dominasque suorum 5
 pectora pelle tegi, crinales solvere vittas,

第四卷

1

- 1 AT [接] 「しかし、しかし一方」
- 2 non [副] 「(全然)～ない」 1-6 censet を修飾。*2-3 sed と呼応する。
- 3 Alcithoe [名] f. 「アルキトエ」(単数主格) 1-6/ 3-2/ 4-2 censet, negat, habet の主語。☆ボエオティアの古都オルコメノスの祖ミニュアスの娘。
- 4 Minyeias [名] f. 「ミニュアスの娘」(単数主格) 1-3 Alcithoe と同格。
- 5 orgia <orgia [名] n.pl. 「秘密酒祭; 狂乱酒宴」(複数対格) 1-6 censet の目的語。
- 6 censet <censeo [動] 「見積もる; 主張する; 考える」(直説法能相三人称単数現在) *以下、歴史的現在が多用される。

2

- 1 accipienda <accipio [動] 「受け取る; 受け入れる; 歓迎する」動形容詞(中性複数対格)。1-5 orgia に一致。叙述的用法。
*orgia censet accipienda = considers <the> orgies <to be> accepted
- 2 dei <deus [名] m. 「神; 神力」(単数属格) 1-5 orgia を修飾。*2-6 Bacchum を指す。
- 3 sed [接] 「しかし; ～ではなくて」
- 4 adhuc [副] 「今まで、今でも; ここまで」 3-2 negat を修飾。

- 5 temeraria <temerarius [形] 「性急な、軽率な、無分別な」(女性単数主格) 1-3 Alcithoe に一致。叙述的用法。
- 6 Bacchum <Bacchus [名] m. 「バックス」(単数対格) 3-3 esse の意味上の主語。
☆ギリシア・ローマ神話の酒神。ギリシアではディオニュソスとも呼ばれる。

3

- 1 progeniem <progenies [名] f. 「家系; 子孫」(単数対格) 3-3 esse の補語。
- 2 negat <nego [動] 「否定する; 拒否する」(直説法能相三人称単数現在)
- 3 esse <sum [動] 「～である; 存在する」(不定法現在) 3-2 negat の目的語。
- 4 Iovis <Iuppiter [名] m. 「ユピテル、ジュピター」(単数属格) 3-1 progeniem を修飾。☆サトゥルヌスとオプスの息子。ローマ神話の最高神で、天空の支配者。「父なる天」の謂。ギリシア神話のゼウスに当る。
- 5 sociasque (= socias + que) <socia [名] f. 「仲間、一味」(複数対格) 3-6 sorores と同格。*属格を伴う。
- 6 sorores <soror [名] f. 「姉妹」(複数対格) 4-2 habet の目的語。

(Of) Metamorphoses

BOOK IV

But Alcithoo, Minyas's daughter, never considered <the> god's
orgies <to be> admitted, but (being) indiscreet, still denied
Bacchus (to) be Jupiter's child and her sisters,
associates (in) impiety. <His> priest (had) ordered (to) celebrate <his> festival,
and <ordered> maidservants and <their> mistresses, (getting) exempted (from) their tasks,
(to) cover <their> breasts (with) pelts, (to) untie <their> headbands,

4

- 1 inpietatis<impietas [名] f.「不信心、不敬」(単数属格) 3-5 socias を修飾。
* socias inpietatis = associates (in) impiety
- 2 habet<habeo [動]「持つ、所有する」(直説法能相三人称単数現在)
- 3 festum<festum [名] n.「祝日、祝祭、祝宴」(単数対格) 4-4 celebrare の目的語。
- 4 celebrare<celebro [動]「群れる、満たす；繰り返す；讃える」(不定法能相現在) 6-3・5/ 7-5 tegi, solvere, sumere と共に 8-1 iusserat の目的語。
- 5 sacerdos [名] m.f.「神官、巫女」(単数主格) 8-1/ 9-1・2 iusserat, vaticinatus erat の主語。

5

- 1 innumesque (= innumes + que)< innumis [形]「束縛されていない；負担を負っていない；自由な」(女性複数対格) 5-3・4 famulas dominas を修飾。叙述的用法。* 属格を伴う。
- 2 operum<opus [名] n.「仕事、労働；作品；技巧」(複数属格) 5-1 innumes の補語。
- 3 famulas<famula [名] f.「女召使、女中」(複数対格) 5-4 dominas と共に 6-3・5/ 7-5 tegi, solvere, sumere の意味上の主語。

- 4 dominasque (= dominas + que)< domina [名] f.「女主人、主婦；情婦」(複数対格)
- 5 suorum<suus [代]「彼(ら)の、彼女(ら)の、それ(ら)の」(中性複数属格) 5-3・4 famulas dominas を指す。5-2 operum を修飾。

6

- 1 pectora<pectus [名] n.「胸；心」(複数対格) 副詞的用法。6-2 pelle と共に 6-3 tegi を修飾。* pectora pelle tegi = (get) <their> breasts covered (with) hides : i.e. cover their breasts with hides
- 2 pelle<pellis [名] f.「皮膚、獣皮」(単数奪格) ☆バックス信女たちは仔鹿や豹の毛皮を身に纏い、蔦や樅の葉や樅の木を髪に飾り、葡萄の蔓や蔦を巻いて松笠を載せた杖(テュルスス)を携えていた。
- 3 tegi<tego [動]「覆う；隠す」(不定法所相現在)
- 4 crinales<crinalis [形]「髪；(名)髪留め」(女性複数対格) 6-6 vittas を修飾。
- 5 solvere<solvo [動]「弛める；解き放つ；分解する；取り除く」(不定法能相現在)
- 6 vittas<vitta [名] f.「頭飾り、鉢巻」(複数対格) 6-5 solvere の目的語。

serta coma, manibus frondentis sumere thyrsos
 iusserat et saevam laesi fore numinis iram
 vaticinatus erat : parent matresque nurusque
 telasque calathosque infectaque pensa reponunt 10
 turaque dant Bacchumque vocant Bromiumque Lyaeumque
 ignigenamque satumque iterum solumque bimatrem ;
 additur his Nyseus indetonsusque Thyoneus
 et cum Lenaeo genialis consitor uvae

7

- 1 *serta* < *sero* [動] 「編む；結ぶ」完了分詞(女性単数奪格)。7-2 *coma* と共に独立奪格構文を成す。**serta coma* = (with) <their> hair wreathed
- 2 *coma* < *coma* [名] f. 「毛髪」(単数奪格)
- 3 *manibus* < *manus* [名] f. 「手；一団」(複数奪格) 7-5 *sumere* を修飾。
- 4 *frondentis* (= *frondentes*) < *frondeo* [動] 「葉が出る」現在分詞(男性複数対格)。7-6 *thyrsos* を修飾。
- 5 *sumere* < *sumo* [動] 「取る；着手する；獲得する」(不定法能相現在)
- 6 *thyrsos* < *thyrsus* [名] m. 「茎、幹；テュルスス」(複数対格) 7-5 *sumere* の目的語。*6-2 参照。

8

- 1 *iusserat* < *iubeo* [動] 「命ずる」(直説法能相三人称単数全分過去)
- 2 *et* [接] 「そして、また」
- 3 *saevam* < *saevus* [形] 「荒れ狂う、獰猛な；残忍な」(女性単数対格) 8-7 *iram* に一致。8-5 *fore* の補語。
- 4 *laesi* < *laedo* [動] 「傷つける；悩ます、苦しめる」完了分詞(中性単数属格)。8-6 *numinis* を修飾。
- 5 *fore* (= *futuram esse*) < *sum* [動] 「～である；存在する」(不定法未来) 9-1-2 *vaticinatus erat* の目的語。
- 6 *numinis* < *numen* [名] n. 「神の意志；神」(単数属格) 8-7 *iram* を修飾。*2-6 *Bacchum* を指す。

- 7 *iram* < *ira* [名] f. 「憤怒」(単数対格) 8-5 *fore* の意味上の主語。

9

- 1-2 *vaticinatus erat* < *vaticinor* [所動] 「預言する」(直説法三人称単数全分過去) *不定法句を伴う。
- 3 *parent* < *pareo* [動] 「従う；依存する」(直説法能相三人称複数現在)
- 4 *matresque* (= *matres* + *que*) < *mater* [名] f. 「母」(複数主格) 9-5 *nurus* と共に 9-3/ 10-5/ 11-2-4 *parent, reponunt, dant, vocant* の主語。
- 5 *nurusque* (= *nurus* + *que*) < *nurus* [名] f. 「嫁；若い婦人」(複数主格)

10

- 1 *telasque* (= *telas* + *que*) < *tela* [名] f. 「蜘蛛の巣；織機」(複数対格) 10-2-4 *calathos, pensa* と共に 10-5 *reponunt* の目的語。
- 2 *calathosque* (= *calathos* + *que*) < *calathus* [名] m. 「手かご」(複数対格)
- 3 *infectaque* (= *infecta* + *que*) < *infectus* [形] 「未完の、仕上がっていない」(中性複数対格) 10-4 *pensa* を修飾。
- 4 *pensa* < *pensum* [名] n. 「分担、職務」(複数対格)
- 5 *reponunt* < *repono* [動] 「戻す；保存する；片付ける」(直説法能相三人称複数現在)

(with) <the> hair wreathed, <and> (to) grasp sprouting thyrsi (in) <their> hands,
 and had prophesied <the> rage (of) <the> injured divinity
 (to) be savage: both matrons and maidens comply
 and repose <their> looms and hand-baskets and unfinished jobs
 and offer incense and call Bacchus both Brominus and Lyaeus
 and <the> son of fire and <the> (one) born twice and solely <the> (son) with two mothers;
 (to) these (are) added Nyseus and unshorn Thyoneus
 and, along with Lenaeus, <the> planter (of) genial vine

11

- 1 turaque (= tura + que) < tus [名] n. 「香、香料」(複数対格) 11-2 dant の目的語。
- 2 dant < do [動] 「与える、為す; 認める」(直説法能相三人称複数現在)
- 3 Bacchumque (= Bacchum + que) < Bacchus [名] m. 「バックス」(単数対格) 11-4 vocant の目的語。
- 4 vocant < voco [動] 「呼ぶ、呼び集める; 訴える」(直説法能相三人称複数現在)
- 5 Bromiumque (= Bromium + que) < Bromius [名] m. 「プロミウス」(単数対格) 11-6/12-1・2・5 Lyaeum, ignigenam, satum, bimatrem と共に 11-4 vocant の補語。☆「怒鳴る者」の謂。バックス神の呼称。以下同断。
- 6 Lyaeumque (= Lyaeum + que) < Lyaeus [名] m. 「リュアエウス」(単数対格) ☆「解放者」の謂。

12

- 1 ignigenamque (= ignigenam + que) < ignigena [名] m. 「火から生れた者」(単数対格) ☆バックスは母セメレが父ユピテルの火炎で焼死した時、母の胎内から取り出されて、父の太腿に縫い込まれ、月満ちて生れた(第三巻 308-12 行)。
- 2 satumque (= satum + que) < sero [動] 「蒔く; 生む」完了分詞(男性単数対格)。名詞的用法。
- 3 iterum [副] 「再び」12-2 satum を修飾。
- 4 solumque (= solum + que) [副] 「ただ、～のみ」12-5 bimatrem を修飾。

- 5 bimatrem < bimater [形] 「二人の母を持つ、二度生れた」(男性単数対格) 名詞的用法。

13

- 1 additur < addo [動] 「付ける; 加える」(直説法所相三人称単数現在)
- 2 his < hic [代] 「これ、この人; 次のこと」(男性複数与格) 13-1 additur を修飾。
- 3 Nyseus [名] m. 「ニュセウス」(単数主格) 13-1 additur の主語。☆「ニュサ山の」の謂。ニュサ山はバックスが育てられたという伝説の山。*以下、更にバックスの呼称が列挙される。
- 4 indetonsusque (= indetonsus + que) [形] 「髪を刈っていない」(男性単数主格) 13-5 Thyoneus を修飾。
- 5 Thyoneus [名] m. 「テュオネウス」(単数主格) ☆「テュオネの息子」の謂。テュオネは、バックスが母セメレを神々の一人として呼んだ名前。

14

- 1 et 8-2 参照。
- 2 cum [前] 「～と共に; ～を伴って; ～で」奪格支配(14-3 Lenaeo)。
- 3 Lenaeo < Lenaeus [名] m. 「レナエウス」(単数奪格) ☆「葡萄搾り機の神」の謂。
- 4 genialis < genialis [形] 「陽気な、愉快的な」(女性単数属格) 14-6 uvae を修飾。
- 5 consitor [名] m. 「蒔く人、植える人」(単数主格)
- 6 uvae < uva [名] f. 「葡萄」(単数属格) 14-4 consitor を修飾。

Nycteliusque Eleleusque parens et Iacchus et Euhān, 15
 et quae praeterea per Graias plurima gentes
 nomina, Liber, habes. tibi enim inconsumpta iuventa est,
 tu puer aeternus, tu formosissimus alto
 conspiceris caelo; tibi, cum sine cornibus adstas,
 virgineum caput est; Oriens tibi victus, adusque 20
 decolor extremo qua tingitur India Gange.
 Penthea tu, venerande, bipenniferumque Lycurgum

15

- 1 Nycteliusque (= Nyctelius + que) [形]
「ニュクテリウスの」(男性単数主格)
名詞的用法。☆「夜崇拝される」の謂。
バックス神の祭儀が夜催されることによる呼称。
- 2 Eleleusque (= Eleleus + que) [名] m.「エレレウス」(単数主格) ☆信者の叫び声に由来する呼称。15-5-7 Iacchus, Euhān も同断。
- 3 parens [名] m.f.「親、父、母」(単数主格)
15-2 Eleleus と同格。
- 4 et [接]「そして、また」
- 5 Iacchus [名] m.「イアックス」(単数主格)
- 7 Euhān [名] m.「エウハン」(単数主格)

16

- 1 et 15-4-6 参照。
- 2 quae < qui [関代] 中性複数対格。先行詞は 17-1 nomina。17-3 habes の目的語。
- 3 praeterea [副]「更に」 *et praeterea = and furthermore
- 4 per [前]「～を横切って；～を通して；～によって」対格支配(16-7 gentes)。17-3 habes を修飾。
- 5 Graias < Graius [形]「ギリシアの」(女性複数対格) 16-7 gentes を修飾。
- 6 plurima < multus [形]「多数の；多量の」最上級(中性複数対格)。17-1 nomina を修飾。
- 7 gentes < gens [名] f.「氏族；民族」(複数対格)

17

- 1 nomina < nomen [名] n「名前」(複数主格)
- 2 Liber < Liber [名] m.「リベル」(単数呼格)
☆農耕を司るイタリアの古い神。後に、バックスと同一視された。
- 3 habes < habeo [動]「持つ、所有する」(直説法能相二人称単数現在) 主述部。
- 4 tibi < tu [代]「あなた」(単数与格) 17-8 est の補語。*tibi iuventa est = thine is youth : i.e. thou hast youth
- 5 enim [接]「実際；何故なら；例えば」
- 6 inconsumpta < inconsumptus [形]「消費されない、減らない」(女性単数主格) 17-7 iuventa を修飾。*「永遠の」の謂。
- 7 iuventa [名] f.「青春期、若さ」(単数主格) 17-8 est の主語。
- 8 est < sum [動]「～である；存在する」(直説法三人称単数現在)

18

- 1 tu 17-4 参照(単数呼格)。
- 2 puer [名] m.「少年；息子」(単数呼格)
- 3 aeternus [形]「長持ちする、永久の；<名>永遠」(男性単数呼格) 18-2 puer を修飾。
- 4 tu 18-1 参照(単数主格)。19-1 conspiceris の主語。
- 5 formosissimus < formosus [形]「美しい、見事な」最上級(男性単数主格)。18-4 tu を修飾。叙述的用法。
- 6 alto < altus [形]「高い、深い」(中性単数奪格) 19-2 caelo を修飾。

**and Nyctelius and parent Eleleus and Iacchus and Euhon,
and furthermore, innumerable names which (thou) hast, Liber,
throughout <the> Greek races. For thine is inconsumable youth,
thou, eternal boy; thou (wilt be) sighted loveliest
(in) <the> high heavens; when (thou) standest without cornua, thine
is <a> virgin-like head; <the> Orient <is> vanquished (by) thee, as far as
where swarthy india (is) soaked (in) <the> remotest Ganges.
Thou murderedst sacrilegious (ones), venerable (god), Pentheus**

19

- 1 conspiceris <conspicio [動] 「見つめる、見つける」(直説法所相二人称単数未来)
- 2 caelo <caelum [名] n. 「天空、空」(単数奪格) 19-1 conspiceris を修飾。
- 3 tibi 17-4 参照。20-3 est の補語。
- 4 cum [接] 「～した時；～なので；～だけでも」
- 5 sine [前] 「～のない、～なしに」奪格支配(19-6 cornibus)。19-7 adstas を修飾。
- 6 cornibus <cornu [名] n. 「角；突端」(複数奪格)
- 7 adstas <adsto [動] 「側に立つ；直立する；居る」(直説法能相二人称単数現在) 主述部。18-1・4 tu を受ける。

20

- 1 virgineum <virgineus [形] 「処女の、乙女らしい」(中性単数主格) 20-2 caput を修飾。
- 2 caput [名] n. 「頭；頂上」(単数主格) 20-3 est の主語。
- 3 est 17-8 参照。
- 4 Oriens [名] m. 「朝日；東方」(単数主格) 主語。*est (= is) の省略。
- 5 tibi 17-4 参照。20-6 victus を修飾。
*行為者を表す与格。
- 6 victus <vinco [動] 「打ち破る、勝つ」完了分詞(男性単数主格)。20-4 Oriens に一致。*Oriens victus (est) = <the> Orient <is> vanquished
- 7 adusque [前] 「～に至るまで」対格支配 (21-3 qua)。

21

- 1 decolor [形] 「変色した、色褪せた」(女性単数主格) 21-5 India を修飾。
- 2 extremo <extremus [形] 「一番外側の、最も遠い；最後の」(男性単数奪格) 21-6 Gange を修飾。
- 3 qua [関副] 「～する場所(側、方向)」名詞的用法。
- 4 tinguitur <tinguo [動] 「濡らす、浸す；染める」(直説法所相三人称単数現在)
- 5 India [名] f. 「インド」(単数主格) 21-4 tinguitur の主語。☆バックスの遍歴はインドのガンジス川まで達した。
- 6 Gange <Ganges [名] m. 「ガンジス川」(単数奪格) 21-4 tinguitur を修飾。

22

- 1 Penthea <Pentheus [名] m. 「ペンテウス」(単数対格) 22-5 Lycurgum と共に 23-2 mactas の目的語。☆カドムスの娘アガウエの息子。ペンテウスの破滅については、第三巻 511 行以下参照。
- 2 tu 18-4 参照。23-2・4 mactas, mittis の主語。
- 3 venerande <veneror [所動] 「崇拝する、尊敬する」動形容詞(男性単数呼格)。名詞的用法。*「崇拝すべき者」の謂。
- 4 bipenniferumque (= bipenniferum + que) <bipennifer [形] 「両刃の斧を持つ」(男性単数対格) 22-5 Lycurgum を修飾。
- 5 Lycurgum <Lycurgus [名] m. 「リュクルグス」(単数対格) ☆トラキアのエドネス人の王。幼いバックスを迫害した。

sacrilegos mactas, Tyrrhenaque mittis in aequor
 corpora, tu biiugum pictis insignia frenis
 colla premis lyncum. bacchae satyrique sequuntur, 25
 quique senex ferula titubantis ebrius artus
 sustinet et pando non fortiter haeret asello.
 quacumque ingrederis, clamor iuvenalis et una
 femineae voces impulsaque tympana palmis
 concavaque aera sonant longoque foramine buxus. 30

23

- 1 sacrilegos < sacrilegus [形] 「不敬な；
 (名) 冒瀆者」(男性複数対格) 名詞的用法。
 22-1・5 Penthea, Lycurgum と同格。
- 2 mactas < macto [動] 「讃える；捧げる；
 殺す；滅ぼす」(直説法能相二人称単数
 現在)
- 3 Tyrrhenaque (= Tyrrhena + que) <
 Tyrrhenus [形] 「テュレニア (エトルリ
 ア) の」(中性複数対格) 24-1 corpora を
 修飾。☆テュレニアはイタリアの北西部。
- 4 mittis < mitto [動] 「送る；投げる；送
 り出す」(直説法能相二人称単数現在)
- 5 in [前] 「～(の中)へ、～に対して」対格
 支配(23-6 aequor)。23-4 mittis を修飾。
- 6 aequor < aequor [名] n. 「平面；海」(単数
 対格)

24

- 1 corpora < corpus [名] n. 「身体；肉；屍」
 (複数対格) 23-4 mittis の目的語。☆バ
 ックスを欺こうとした為、イルカに変え
 られたテュレニアの海賊たちを指す。
- 2 tu [代] 「あなた」(単数主格) 25-2 premis
 の主語。
- 3 biiugum < biiugis [形] 「軛で繋いだ」
 (男性複数属格) 25-3 lyncum を修飾。
- 4 pictis < pictus [形] 「多色の；装飾され
 た」(中性複数奪格) 24-6 frenis を修飾。
- 5 insignia < insignis [形] 「立派な、顕著
 な」(中性複数対格) 25-1 colla を修飾。
- 6 frenis < frenum [名] n. 「馬勒」(複数奪格)
 24-5 insignia を修飾。

25

- 1 colla < collum [名] n. 「首」(複数対格) 25-2
 premis の目的語。
- 2 premis < premo [動] 「押える；(～に)位
 置する；(荷を)負わせる；強要する」
 (直説法能相二人称単数現在) * 「駆る」
 の謂。
- 3 lyncum < lynx [名] m. f. 「オオヤマネコ」
 (複数属格) 25-1 colla を修飾。
- 4 bacchae < baccha [名] f. 「バックス信女」
 (複数主格) 25-5/ 26-2 satyri, senex と共
 に 25-6 sequuntur の主語。☆マイナデ
 ス(Mainads) と呼ばれる。
- 5 satyrique (= satyri + que) < satyrus [名]
 m. 「サテュルス」(複数主格) ☆半人半獣
 の山の精で、バックスの従者。
- 6 sequuntur < sequor [所動] 「後を追う；
 後を継ぐ；従う」(直説法三人称複数現在)

26

- 1 quique (= qui + que) [関代] 男性単数
 主格。先行詞は 26-2 senex。27-1・6
 sustinet, haeret の主語。
- 2 senex [形] 「老齢の；(名) 老人」(男性
 単数主格) 名詞的用法。☆豊饒を護る山
 の精で、バックスの師であったシレヌス
 (Silenus) を指す。
- 3 ferula < ferula [名] f. 「葦、鞭、杖」(単数
 奪格) 27-1 sustinet を修飾。
- 4 titubantis (= titubantes) < titubo [動]
 「よろめく；吃る；躊躇う」現在分詞
 (男性複数対格)。26-6 artus を修飾。

**and lycurgus with <a> double-blade axe, and castest Tyrrhenian bodies into
<the> ocean; thou prodst <thy> yoked lynxes' necks
conspicuous (with) ornate bridles. Bacchantes and satyrs follow <thee>,
and <the> drunken senile, who sustains <his> tottering limbs
(with) <a> staff and never clings firmly (to) <his> crooked ass.
Wherever (thou) marchest, together resound juvenile clamours
and feminine voices and timbrels beaten
(with) <their> palms and concave cymbals and flutes (of) long tubes.**

- 5 ebrius [形]「満ちた；酔った」(男性単数主格) 26-2 senex を修飾。*叙述的用法とも解釈できる。
 - 6 artus < artus [名] m.「関節；四肢」(複数対格) sustinet の目的語。
- 27
- 1 sustinet < sustineo [動]「支える；抑止する；堪える」(直説法能相三人称単数現在)
 - 2 et [接]「そして、また」
 - 3 pando < pandus [形]「曲がった」(男性単数与格) 27-7 asello を修飾。
 - 4 non [副]「(全然)～ない」 27-5 fortiter と共に 27-6 haeret を修飾。
 - 5 fortiter [副]「強く、元気に」
 - 6 haeret < haereo [動]「附着する；執着する；困惑する」(直説法能相三人称単数現在) *与格を伴う。
 - 7 asello < asellus [名] m.「仔ロバ」(単数与格) 27-6 haeret を修飾。
- 28
- 1 quacumque [関副]「～する所はどこでも」
 - 2 ingrederis < ingredior [所動]「進む；入る」(直説法二人称単数現在) 主述部。24-2 tu を受ける。
 - 3 clamor [名] m.「叫び声；歓声；騒音」(単数主格) 29-2・4/ 30-2・6 voces, tympana, aera, buxus と共に 30-3 sonant の主語。
 - 4 iuvenalis [形]「若い、若々しい」(男性単数主格) 28-3 clamor を修飾。
 - 5 et 27-2 参照。
- 6 una [副]「同じ所で、同時に」 30-3 sonant を修飾。
- 29
- 1 femineae < femineus [形]「女性の；女々しい」(女性複数主格) 29-2 voces を修飾。
 - 2 voces < vox [名] f.「声、音；言葉、発言」(複数主格)
 - 3 impulsaque (= impulsa + que) < inpello [動]「打つ；駆り立てる」完了分詞(中性複数主格)。29-4 tympana を修飾。
 - 4 tympana < tympanum [名] n.「太鼓、タンバリン；車輪」(複数主格)
 - 5 palmis < palma [名] f.「掌；手」(複数奪格) 29-3 impulsa を修飾。
- 30
- 1 concavaque (= concava + que) < concavus [形]「円蓋状の、曲った」(中性複数主格) 30-2 aera を修飾。
 - 2 aera < aes [名] n.「銅、青銅；(複)青銅製品、シンバル」(複数主格)
 - 3 sonant < sono [動]「音を立てる；語る」(直説法能相三人称複数現在)
 - 4 longoque (= longo + que) < longus [形]「長い；遠い」(中性単数奪格) 30-5 foramine を修飾。
 - 5 foramine < foramen [名] n.「穴、口」(単数奪格) 30-6 buxus を修飾。
 - 6 buxus [名] f.「柘植；笛」(単数主格)

“Placatus mitisque” rogant Ismenides “adsis,”
 iussaque sacra colunt ; solae Minyeides intus
 intempestiva turbantes festa Minerva
 aut ducunt lanas aut stamina pollice versant
 aut haerent telae famulasque laboribus urgent. 35
 e quibus una levi deducens pollice filum
 “dum cessant aliae commentaque sacra frequentant,

31

- 1 Placatus [形]「静かな、穏やかな」(男性単数主格) 31-2 mitis と共に叙述的用法。
*ボックスに対する言葉なので、男性単数形をとる。
- 2 mitisque (= mitis + que) [形]「柔かい、熟した；穏やかな」(男性単数主格)
- 3 rogant < rogo [動]「尋ねる；請求する」(直説法能相三人称複数現在)
- 4 Ismenides < Ismenis [名] f.「テーバエの女」(複数主格) 31-3/ 32-3 rogant, colunt の主語。☆テーバエの近郊を流れるイスメノス川に因む呼称。
- 5 adsis < adsum [動]「側にいる；援助する」(接続法能相二人称単数現在)

32

- 1 iussaque (= iussa + que) < iubeo [動]「命ずる」完了分詞(中性複数対格)。32-2 sacra を修飾。
- 2 sacra < sacrum [名] n.「神聖な器物；聖域；儀式」(複数対格) 32-3 colunt の目的語。
- 3 colunt < colo [動]「耕す；住む；保護する；称える；飾る」(直説法能相三人称複数現在)
- 4 solae < solus [形]「単独の；孤独な；寂しい」(女性複数主格) 33-2 turbantes と共に 32-5 Minyeides を修飾。叙述的用法。
- 5 Minyeides < Minyeis [名] f.「ミニュアスの娘」(複数主格) 34-2・7/ 35-2・6 ducunt, versant, haerent, urgent の主語。

☆アルキトエ、レウキッペ、アルシッペの三姉妹。

- 6 intus [副]「中で；中へ；中から」 34-2 ducunt を修飾。*「屋内で」の謂。

33

- 1 intempestiva < intempestivus [形]「時季はずれの、生憎の」(女性単数奪格) 33-4 Minerva を修飾。
- 2 turbantes < turbo [動]「乱れる；混乱させる」現在分詞(女性複数主格)。
- 3 festa < festum [名] n.「祝日、祝祭、祝宴」(複数対格) 33-2 turbantes の目的語。
- 4 Minerva < Minerva [名] f.「ミネルウァ；紡織」(単数奪格) 33-2 turbantes を修飾。
☆ミネルウァは家政を司るローマの女神。ギリシアのパラス・アテナ女神(38-4)と同一視された。

34

- 1・4 aut [接]「或いは」 *aut ... aut = either ... or
- 2 ducunt < duco [動]「導く、引っ張る；促す」(直説法能相三人称複数現在)
*「紡ぐ」の謂。
- 3 lanas < lana [名] f.「羊毛」(複数対格) 34-2 ducunt の目的語。
- 5 stamina < stamen [名] n.「経糸；糸、紐」(複数対格) 43-7 versant の目的語。
- 6 pollice < pollex [名] m.「親指」(単数奪格) 43-7 versant を修飾。
- 7 versant < verso [動]「転がす；動転させる」(直説法能相三人称複数現在) *「燃る」の謂。

"(Being) peaceful and mild," request <the> Theban women " (mayst thou) be here,"
and (they) honour <the> ordered rites; solely Minyas's daughters, indoors,
disregarding <the> festival (for) unseasonable spinning,
either spin wool or twist strings (with) <their> thumbs
or remain (with) <their> looms and urge <their> maidservants (to) labour.
One of whom, drawing <a> thread (with) <her> nimble thumb,
says, "While others cease <their jobs> and celebrate <the> counterfeit

35

- 1 aut 34-1-4 参照。
- 2 haerent<haereo [動]「付着する；執着する；困惑する」(直説法能相三人称複数現在) *与格を伴う。
- 3 telae<tela [名] f.「蜘蛛の巣；織機」(単数与格) 35-2 haerent を修飾。
- 4 famulasque (= famulas + que)<famula [名] f.「女召使、女中」(複数対格) 35-6 urguent の目的語。
- 5 laboribus<labor [名] m.「労働、努力；苦勞、苦難」(複数奪格) 35-6 urguent を修飾。*laboribus urgent = (they) urge (with) labour
- 6 urguent<urgueo/urgeo [動]「驅る；迫る；執着する」(直説法能相三人称複数現在)

36

- 1 e (= ex) [前]「～(の中)から；～に従って」奪格支配(36-2 quibus)。36-3 una を修飾。*una e quibus = one of whom
- 2 quibus<qui [関代] 女性複数奪格。先行詞は 32-5 Minyeides。
- 3 una<unus [数]「一つ(の)；同一の」(女性単数主格) 名詞的用法。38-8 inquit の主語。☆アルシッペ (Arsippe) を指す。
- 4 levi<levis [形]「軽い；素早い；些細な」(男性単数奪格) 36-6 pollice を修飾。
- 5 deducens<deduco [動]「連れ去る、除去する；導く；引き出す」現在分詞(女性単数主格)。36-3 una を修飾。叙述的用法。

- 6 pollice 34-6 参照。36-5 deducens を修飾。
- 7 filum<filum [名] n.「糸、紐」(単数対格) 36-5 deducens の目的語。

37

- 1 dum [接]「～する間に(間は)；～まで」
- 2 cessant<cesso [動]「止む、停滞する；休止する」(直説法能相三人称複数現在)
- 3 aliae<alius [形]「他の、別の」(女性複数主格) 名詞的用法。37-2-6 cessant, frequentant の主語。
- 4 commentaque (= commenta + que)<commentus [形]「捏造の、偽の」(中性複数対格) 37-5 sacra を修飾。
- 5 sacra 32-2 参照。37-6 frequentant の目的語。
- 6 frequentant<frequento [動]「頻繁に行く、繰り返す；群がる；祝う」(直説法能相三人称複数現在)

nos quoque, quas Pallas, melior dea, detinet” inquit,
 “utile opus manuum vario sermone levemus
 perque vices aliquid, quod tempora longa videri 40
 non sinat, in medium vacuas referamus ad aures!”
 dicta probant primamque iubent narrare sorores.
 illa, quid e multis referat (nam plurima norat),

38

- 1 nos < ego [代] 「私」(複数主格) 39-6/ 41-6 levemus, referamus の主語。
- 2 quoque [副] 「～もまた、同様に」 38-1 nos を強調する。
- 3 quas < qui [関代] 女性複数対格。先行詞は 38-1 nos。38-7 detinet の目的語。
- 4 Pallas [名] f. 「パラス」(単数主格) 38-7 detinet の主語。☆戦と様々な技芸を守護するアテナ女神の呼称。
- 5 melior < bonus [形] 「良い；〈名〉良い人(物)」比較級(女性単数主格)。38-6 dea を修飾。
- 6 dea [名] f. 「女神」(単数主格) 38-4 Pallas と同格。
- 7 detinet < detineo [動] 「引き止める、抑制する」(直説法能相三人称単数現在)
- 8 inquit < inquam [動] 「言う」(直説法能相三人称単数現在)

39

- 1 utile < utilis [形] 「役立つ、有益な」(中性単数対格) 39-3 manuum と共に 39-2 opus を修飾。* utile opus manuum = <the> useful task (of) <our> hands
- 2 opus < opus [名] n. 「仕事、労働；作品；技巧」(単数対格) 39-6 levemus の目的語。
- 3 manuum < manus [名] f. 「手；一団」(複数属格)
- 4 vario < varius [形] 「多色の、斑の；多様な、変化に富んだ；変り易い」(男性単数奪格) 39-5 sermone を修飾。

- 5 sermone < sermo [名] m. 「会話、談話；議論」(単数奪格) 39-6 levemus を修飾。
- 6 levemus < levo [動] 「持ち上げる；軽減する」(接続法能相一人称複数現在)

40

- 1 perque (= per + que) [前] 「～を横切って；～を通して；～によって」対格支配(40-2 vices)。41-3・7 in, ad と共に 41-6 referamus を修飾。* per vices = in alternation : i.e. by turns
- 2 vices < vicis [名] f. 「交替、連続；地位、職務」(複数対格)
- 3 aliquid < aliquis [代] 「或る人(物)」(中性単数対格) 41-6 referamus の目的語。
- 4 quod < qui 38-3 参照(中性単数主格)。先行詞は 40-3 aliquid。41-2 sinat の主語。
- 5 tempora < tempus [名] n. 「時間；時期；時代」(複数対格) 40-7 videri の意味上の主語。
- 6 longa < longus [形] 「長い；遠い」(中性複数対格) 40-5 tempora に一致。40-7 videri の補語。
- 7 videri < video [動] 「見る；認知する；〈所〉見える」(不定法所相現在) 41-2 sinat の目的語。

rites, (let) us, whom Pallas <a> better goddess detains, likewise
relieve <the> useful tasks (of) <our> hands (with) various conversations
and in alteration relate to one another, something which
never allows <the> time (to) seem long, to <our> vacant ears!"
<Her> sisters approve <her> sayings and order <the> proposer (to) narrate.
What (she should) relate out of many – for (she) knew innumerable (tales) – she

- 41
- 1 non [副] 「(全然)～ない」 41-2 *sinat* を修飾。
 - 2 *sinat*<*sino* [動] 「許す、容認する」(接続法能相三人称単数現在) *不定法句を伴う。
 - 3 in [前] 「～(の中)へ、～に対して」対格支配(41-4 *medium*)。41-7 *ad* と共に 41-6 *referamus* を修飾。**aliquid in medium referamus* = (let us) render something to <the> common stock : i.e. let us relate something to one another
 - 4 *medium*<*medium* [名] n. 「中間、中央」(単数対格) *「共有」の謂。
 - 5 *vacuas*<*vacuus* [形] 「空の；～のない；暇な」(女性複数対格) 41-8 *aures* を修飾。
 - 6 *referamus*<*refero* [動] 「持ち帰る；返す；答える；報告する」(接続法能相一人称複数現在)
 - 7 *ad* [前] 「～(の方)へ；～に対して(向かって)」対格支配(41-8 *aures*)。
 - 8 *aures*<*auris* [名] f. 「耳」(複数対格)
- 42
- 1 *dicta*<*dictum* [名] n. 「言葉、発言」(複数対格) 42-2 *probant* の目的語。**dico* の完了分詞。
 - 2 *probant*<*probo* [動] 「是認する；証明する」(直說法能相三人称複数現在)
 - 3 *primamque* (= *primam* + *que*)<*primus* [形] 「最初の；第一の」(女性単数対格) 名詞的用法。42-5 *narrare* の意味上の主語。*36-3 *una* を指す。
- 4 *iubent*<*iubeo* [動] 「命ずる」(直說法能相三人称複数現在) *不定法を伴う。
 - 5 *narrare*<*narro* [動] 「告げる、物語る；述べる」(不定法能相現在) 42-4 *iubent* の目的語。
 - 6 *sorores*<*soror* [名] f. 「姉妹」(複数主格) 42-2・4 *probant, iubent* の主語。
- 43
- 1 *illa*<*ille* [代] 「あれ、それ；彼(彼女)」(女性単数主格) 42-3 *primam* を指す。44-1・4 *cogitat, est* の主語。
 - 2 *quid*<*quis* [疑] 「誰(何)」(中性単数対格) 44-1 *cogitat* の目的語。*間接疑問文を導く。
 - 3 *e* (= *ex*) [前] 「～(の中)から；～に従って」奪格支配(43-4 *multis*)。43-2 *quid* を修飾。
 - 4 *multis*<*multus* [形] 「多数の；多量の」(中性複数奪格) 名詞的用法。
 - 5 *referat*<*refero* 41-6 参照(接続法能相三人称単数現在)。
 - 6 *nam* [接] 「何故なら；確かに；さて」
 - 7 *plurima*<*multus* [形] 「多数の；多量の」最上級(中性複数対格)。名詞的用法。43-8 *norat* の目的語。
 - 8 *norat* (= *noverat*)<*nosco* [動] 「知る」(直說法能相三人称単数全分過去)

cogitat et dubia est, de te, Babylonia, narret,
 Derceti, quam versa squamis velantibus artus 45
 stagna Palaestini credunt motasse figura,
 an magis, ut sumptis illius filia pennis
 extremos albis in turribus egerit annos,
 nais an ut cantu nimiumque potentibus herbis
 verterit in tacitos iuvenalia corpora pisces, 50

44

- 1 cogitat<cogito [動]「考える、思う；意図する」(直説法能相三人称単数現在)
- 2 et [接]「そして、また」
- 3 dubia<dubius [形]「迷う；躊躇する；疑う」(女性単数主格) 43-1 illa に一致。44-4 est の補語。
- 4 est<sum [動]「～である；存在する」(直説法三人称単数現在)
- 5 de [前]「～から；～中に；～故に」奪格支配(44-6 te)。44-8 narret を修飾。
- 6 te<tu [代]「あなた」(単数奪格)
- 7 Babylonia<Babylonius [形]「バビュロニアの；バビュロンの」(女性単数呼格) 45-1 Derceti を修飾。☆バビュロニアはメソポタミア南部の都市バビュロンを中心に栄えた古代国家。
- 8 narret<narro [動]「告げる、物語る；述べる」(接続法能相三人称単数現在)

45

- 1 Derceti<Dercetis [名] f.「デルケティス」(単数呼格) ☆シリアの豊穡の女神で、バビュロンの女王セミラミス(58-4)の母。湖に住み、顔は人間、胴体から下は魚形であった。デルケト、アタルガティスとも呼ばれる。
- 2 quam<qui [関代] 女性単数対格。先行詞は 44-6 te。46-4 motasse の意味上の主語。
- 3 versa<verto [動]「向ける；変える；覆す」完了分詞(女性単数奪格)。46-5 forma を修飾。

- 4 squamis<squama [名] f.「鱗；(鎧の)小札」(複数奪格) 45-5 velantibus と共に独立奪格構文を成す。*squamis velantibus artus = (with) scales wrapping <her> limbs
- 5 velantibus<velo [動]「覆う、包む」現在分詞(女性複数奪格)。
- 6 artus<artus [名] m.「関節；四肢」(複数対格) 45-5 velantibus の目的語。

46

- 1 stagna<stagnum [名] n.「水溜り、湖、沼沢」(複数対格) 46-4 motasse の目的語。
- 2 Palaestini<Palaestinus [形]「パレスティナの」(男性複数主格) 名詞的用法。46-3 credunt の主語。
- 3 credunt<credo [動]「貸す；委ねる；信ずる」(直説法能相三人称複数現在) *不定法句を伴う。
- 4 motasse (= motavisse)<moto [動]「動かす、煽る」(不定法能相完了) 46-3 credunt の目的語。
- 5 figura<figura [名] f.「姿、形」(単数奪格) 46-4 motasse を修飾。

considers and is doubtful <that> (she should) narrate about thee, Babylonian Dercetis, whom <the> Palestine (people) believe (to have) stirred <a> pool (by) <thy> mutated form (with) scales wrapping <thy> limbs; or rather, that her daughter, acquiring wings, spent <her> last years in white turrets; or that (with) incantation and excessively potent herbs, <a> naiad converted juvenile bodies into dumb fish

47

- 1 an [接] 「或いは」
- 2 magis < magnopere [副] 「大いに、極めて」比較級。*「寧ろ」の謂。
- 3 ut [接] 「～した結果；～すること；～する為に」44-8 narret の目的語。*49-3/52-1 ut も同断。
- 4 sumptis < sumo [動] 「取る；着手する；獲得する」完了分詞(女性複数奪格)。47-7 pennis と共に独立奪格構文を成す。*(with) wings acquired : i.e. acquiring wings
- 5 illius < ille [代] 「あれ、それ；彼(彼女)」(女性単数属格) 45-1 Derceti を指す。47-6 filia を修飾。
- 6 filia [名] f. 「娘」(単数主格) 48-5 egerit の主語。☆セミラミスを指す。
- 7 pennis < penna [名] f. 「羽根；〈複〉翼」(複数奪格) ☆晩年、セミラミスは鳩に変身した。

48

- 1 extremos < extremus [形] 「一番外側の、最も遠い；最後の」(男性複数対格) 48-6 annos を修飾。
- 2 albis < albus [形] 「白い」(女性複数奪格) 48-4 turribus を修飾。
- 3 in [前] 「～で(に)、～の中(上)で」奪格支配(48-4 turribus)。48-5 egerit を修飾。
- 4 turribus < turris [名] f. 「塔、小塔」(複数奪格)
- 5 egerit < ago [動] 「動かす；前進させる；駆る；為す」(接続法能相三人称単数完了

過去) *「過す」の謂。

- 6 annos < annus [名] m. 「年」(複数対格) 48-5 egerit の目的語。

49

- 1 nais [名] f. 「ナイス」(単数主格) 50-1 verterit の主語。☆川や湖に棲む妖精。
- 2 an 47-1 参照。
- 3 ut 47-3 参照。
- 4 cantu < cantus [名] m. 「歌；演奏；鳴き声」(単数奪格) 49-7/ 50-2 herbis, in と共に 50-1 verterit を修飾。
- 5 nimiumque (= nimium + que) [副] 「余りに；非常に」49-6 potentibus を修飾。
- 6 potentibus < potens [形] 「能力がある、力強い」(女性複数奪格) 49-7 herbis を修飾。
- 7 herbis < herba [名] f. 「草、牧草」(複数奪格)

50

- 1 verterit < verito 45-3 参照(接続法能相三人称単数完了過去)。
- 2 in [前] 「～(の中)へ、～に対して」対格支配(50-6 pisces)。
- 3 tacitos < tacitus [形] 「沈黙した；無言の；静かな」(男性複数対格) 50-6 pisces を修飾。
- 4 iuvenalia < iuvenalis [形] 「若い、若々しい」(中性複数対格) 50-5 corpora を修飾。
- 5 corpora < corpus [名] n. 「身体；肉；屍」(複数対格) 50-1 verterit の目的語。
- 6 pisces < piscis [名] m. 「魚」(複数対格)

donec idem passa est, an, quae poma alba ferebat
 ut nunc nigra ferat contactu sanguinis arbor :
 hoc placet ; hanc, quoniam vulgaris fabula non est,
 talibus orsa modis lana sua fila sequente :

' "Pyramus et Thisbe, iuvenum pulcherrimus alter, 55
 altera, quas Oriens habuit, praelata puellis,

51

- 1 donec [接] 「～まで；～する間」
- 2 idem<idem [代] 「同じ」(中性単数対格)
51-3・4 passa est の目的語。*「同じ仕打ち」の謂。
- 3・4 passa est<patior [所動] 「堪える；被る；許す；従う」(直説法三人称単数完了過去)
- 5 an [接] 「或いは」
- 6 quae<qui [関代] 女性単数主格。先行詞は 52-7 arbor。51-9 ferebat の主語。
- 7 poma<pomum [名] n. 「果物、果樹」(複数対格) 51-9 ferebat の目的語。
- 8 alba<albus [形] 「白い」(中性複数対格) 51-7 poma を修飾。
- 9 ferebat<fero [動] 「支える、運ぶ；もたらす；堪える」(直説法能相三人称単数不完了過去) *「(果実を) 付ける」の謂。

52

- 1 ut [接] 「～した結果；～すること；～する為に」
- 2 nunc [副] 「目下；現状では」 52-4 ferat を修飾。
- 3 nigra<niger [形] 「黒い、暗い；陰鬱な」(中性複数対格) 名詞的用法。52-4 ferat の目的語。*51-7 poma を受ける。
- 4 ferat<fero 51-9 参照(接続法能相三人称単数現在)。
- 5 contactu<contactus [名] m. 「接触；伝染」(単数奪格) 52-4 ferat を修飾。
- 6 sanguinis<sanguis [名] m. 「血；血統」(単数属格) 52-5 contactu を修飾。

- 7 arbor [名] f. 「木；船」(単数主格) 52-4 ferat の主語。

53

- 1 hoc<hic [代] 「これ、この人；次のこと」(中性単数主格) 53-2 placet の主語。
*最後の逸話を指す。
- 2 placet<placeo [動] 「喜ばず、満足させる」(直説法能相三人称単数現在)
- 3 hanc<hic 53-1 参照(女性単数対格)。
53-6 fabula を指す。54-2 orsa の目的語。
- 4 quoniam [副] 「今後、～なので」
- 5 vulgaris<vulgaris [形] 「大衆の、一般的な；陳腐な」(女性単数主格) 53-6 fabula に一致。53-8 est の補語。
- 6 fabula [名] f. 「物語；事柄」(単数主格) 53-8 est の主語。
- 7 non [副] 「(全然)～ない」 53-8 est を修飾。
- 8 est<sum [動] 「～である；存在する」(直説法三人称単数現在) 主述部。

until (she) suffered <the> same fate; or that <a> tree, which bore
white fruit, now bears black (one) (by) <the> contact (of) blood:
this pleases <her>; this, since (the) fable is not popular, <she got> started
(in) this mode, spinning her wool (into) strings:
"Pyramus and Thisbe, <the> one handsomest (of) <the> youths;
<the> other preferred (to) <the> girls whom <the> Orient had,

54

- 1 talibus<talis [形]「そのような; 次の」
(男性複数奪格) 54-3 modis を修飾。
- 2 orsa (est)<ordior [所動]「始める; 話し
始める」(直説法三人称単数完了過去)
est の省略。*167-7-8 orsa est 参照。
- 3 modis<modus [名] m.「寸法; 拍子; 方
法」(複数奪格) 54-2 orsa を修飾。
- 4 lana<lana [名] f.「羊毛」(単数奪格) 54-7
sequente と共に独立奪格構文を成す。
*lana sua fila sequente = (with) her
wool following <the> strings : i.e.
spinning her wool into strings
- 5 sua<suus [代]「彼(ら)の、彼女(ら)の、
それ(ら)の」(女性単数奪格) 43-1 illa を
指す。54-4 lana を修飾。
- 6 fila<filum [名] n.「糸、紐」(複数対格)
54-7 sequente の目的語。
- 7 sequente<sequor [所動]「後を追う;
後を継ぐ; 従う」現在分詞(女性単数奪
格)。

55

- 1 Pyramus [名] m.「ピュラムス」(単数
主格) 55-3 Thisbe と共に 57-2 tenere
の主語。☆バビュロンの美青年。隣家の
娘ティスベと幼馴染みで、恋人。
- 2 et [接]「そして、また」
- 3 Thisbe [名] f.「ティスベ」(単数主格)
- 4 iuvenum<iuvenis [形]「若い; (名)
若者」(複数属格) 名詞的用法。55-5
pulcherrimus を修飾。
- 5 pulcherrimus<pulcher [形]「美しい;

素晴らしい」(男性単数主格) 55-6 alter に
一致。

- 6 alter [形]「もう一つの、一方の、他方
の」(男性単数主格) 名詞的用法。55-1
Pyramus と同格。56-1 alteraと呼応す
る。*alter ...altera = the one ... the
other

56

- 1 altera<alter 55-6 参照(女性単数主格)。
名詞的用法。55-3 Thisbe と同格。
- 2 quas<qui 51-6 参照(女性複数対格)。
先行詞は 56-6 puellis。56-4 habuit の
目的語。
- 3 Oriens [名] m.「朝日; 東方」(単数主格)
56-4 habuit の主語。
- 4 habuit<habeo [動]「持つ、所有する」
(直説法能相三人称単数完了過去)
- 5 praelata<praefero [動]「前に運ぶ、差
し出す; 提示する; ~より好む」完了
分詞(女性単数主格)。56-1 altera に一致。
*与格を伴う。
- 6 puellis<puella [名] f.「少女、乙女」
(複数与格) 56-5 praelata を修飾。

contiguas tenere domos, ubi dicitur altam
 coctilibus muris cinxisse Semiramis urbem.
 notitiam primosque gradus vicinia fecit,
 tempore crevit amor; taedae quoque iure coissent, 60
 sed vetuere patres: quod non potuere vetare,
 ex aequo captis ardebant mentibus ambo.
 conscius omnis abest; nutu signisque loquuntur,

57

- 1 contiguas < contiguus [形] 「隣接する、近い」(女性複数対格) 57-3 domos を修飾。
- 2 tenere (= tenuerunt) < teneo [動] 「保持する; 占める; 制御する」(直説法能相三人称複数完了過去)
- 3 domos < domus [名] f. 「家; 住居; 家庭」(複数対格) 57-2 tenere の目的語。
- 4 ubi [関副] 「～する場所; ～する時」
- 5 dicitur < dico [動] 「言う、話す、述べる; 呼ぶ」(直説法所相三人称単数現在)
- 6 altam < altus [形] 「高い、深い」(女性単数対格) 58-5 urbem を修飾。☆城壁の高さは百メートルあったという。

58

- 1 coctilibus < coctilis [形] 「焼いた、焼き煉瓦の」(男性複数奪格) 58-2 muris を修飾。
- 2 muris < murus [名] m. 「壁、城壁; 防御」(複数奪格) 58-3 cinxisse を修飾。
- 3 cinxisse < cingo [動] 「取り巻く、囲む; 締める」(不定法能相完了) 57-5 dicitur の補語。
- 4 Semiramis [名] f. 「セミラミス」(単数主格) 57-5 dicitur の主語。*45-1 参照。
- 5 urbem < urbs [名] f. 「(城壁で囲まれた) 都市、町; ローマ」(単数対格) 58-3 cinxisse の目的語。☆バビュロンを指す。

59

- 1 notitiam < notitia [名] f. 「名声; 知見、親密さ」(単数対格) 59-3 gradus と共に 59-5 fecit の目的語。

- 2 primosque (= primos + que) < primus [形] 「最初の; 第一の」(男性複数対格) 59-3 gradus を修飾。
- 3 gradus < gradus [名] m. 「歩み、足取り; 段階、間隔」(複数対格)
- 4 vicinia [名] f. 「隣接、近隣; 隣人」(単数主格) 59-5 fecit の主語。
- 5 fecit < facio [動] 「建設する; 為す; 製造(製作)する」(直説法能相三人称単数完了過去)

60

- 1 tempore < tempus [名] n. 「時間; 時期; 時代」(単数奪格) 60-2 crevit を修飾。
* tempore crevit = increased (with) time : i.e. increased gradually
- 2 crevit < cresco [動] 「生える; 成長する、増大する; 栄える」(直説法能相三人称単数完了過去)
- 3 amor [名] m. 「愛情; 欲望」(単数主格) 60-2 crevit の主語。
- 4 taedae < taeda [名] f. 「リギダ松; 松明; 婚姻」(単数属格) 60-6 iure を修飾。
- 5 quoque [副] 「～もまた、同様に」 60-4 taedae を強調する。
- 6 iure < ius [名] n. 「正義、掟; 権利」(単数奪格) 60-7 coissent を修飾。
- 7 coissent < coeo [動] 「集合する; 結合する」(接続法能相三人称複数全分過去) 主述部。55-1・2・3 Pyramus et Thisbe を受ける。

inhabited adjacent houses, where Semiramis (is) said
 (to have) encircled <her> high city (with) brick ramparts.
 <The> vicinity caused <their> intimacy and <its> primary steps;
 (with) time <their> love increased; (they would have) coalesced (by) <a> nuptial law too,
 but <their> fathers vetoed: (they) could never veto that
 <the> two, (with) <their> minds captivated, (were) burning (with) mutual love.
 (There) was no confidant; (with) nods and signs (they) spoke,

61

- 1 sed [接] 「しかし; ~ではなくて」
- 2 vetuere (= vetuerunt) <veto [動] 「反対する、禁ずる」(直説法能相三人称複数完了過去)
- 3 patres <pater [名] m. 「父」(複数主格) 61-2 vetuere の主語。
- 4 quod [接] 「~なので; ~すること」 61-7 vetare の目的語。
- 5 non [副] 「(全然) ~ない」 61-6 potuere を修飾。
- 6 potuere (= potuerunt) <possum [動] 「~できる、能力がある」(直説法三人称複数完了過去) 主述部。61-3 patres を受ける。
- 7 vetare <veto 61-2 参照(不定法能相現在)。61-6 potuere の補語。

62

- 1 ex [前] 「~(の中)から; ~に従って」奪格支配(62-2 aequo)。62-4 ardebant を修飾。*ex aequo = with equality: i.e. with mutual love
- 2 aequo <aequum [名] n. 「平地; 同等」(単数奪格)
- 3 captis <capio [動] 「掴む; 捉える; 獲得する」完了分詞(女性複数奪格)。62-5 mentibus と共に独立奪格構文を成す。
*captis mentibus = (with) <their> minds captivated
- 4 ardebant <ardeo [動] 「燃える」(直説法能相三人称複数不完了過去)
- 5 mentibus <mens [名] f. 「心、精神; 知性」(複数奪格)

- 6 ambo [数] 「両方の」(男性複数主格) 名詞的用法。62-4 ardebant の主語。

63

- 1 conscius [形] 「認識しあって; 意識して; (名) 共犯者」(男性単数主格) 名詞的用法。63-3 abest の主語。*「幫助者」の謂。
- 2 omnis [形] 「全ての、あらゆる」(男性単数主格) 63-1 conscius を修飾。
- 3 abest <absum [動] 「居ない; 離れている; 足りない」(直説法三人称単数現在) *consciis omnis abest = All <the> confidants are absent: i.e. There is no confidant
- 4 nutu <nutus [名] m. 「うなづくこと; 意向」(単数奪格) 63-5 signis と共に 63-6 loquuntur を修飾。
- 5 signisque (= signis + que) <signum [名] n. 「印; 軍旗; 合図; 像」(複数奪格)
- 6 loquuntur <loquor [所動] 「話す、述べる」(直説法三人称複数現在) 主述部。62-6 ambo を受ける。

quoque magis tegitur, tectus magis aestuat ignis.
 fissus erat tenui rima, quam duxerat olim, 65
 cum fieret, paries domui communis utrique.
 id vitium nulli per saecula longa notatum—
 quid non sentit amor?—primi vidistis amantes
 et vocis fecistis iter, tutaeque per illud
 murmure blanditiae minimo transire solebant. 70

64

- 1 quoque (= quo + que) [関副] ~する所へ、~まで」64-2 magis を修飾。*比較級を伴い、「~の分だけ；~すればする程」の謂。64-5 magis と呼応する。
- 2・5 magis < magnopere [副] 「大いに、極めて」比較級。それぞれ 64-3 tegitur、及び 64-6 aestuat を修飾。
- 3 tegitur < tego [動] 「覆う；隠す」(直説法所相三人称単数現在) 主述部。64-7 ignis を受ける。
- 4 tectus < tego 64-3 参照。完了分詞(男性単数主格)。64-7 ignis を修飾。
- 6 aestuat < aestuo [動] 「燃える；白熱する；興奮する」(直説法能相三人称単数現在)
- 7 ignis [名] m. 「火；輝き」(単数主格) 64-5 aestuat の主語。

65

- 1・2 fissus erat < findo [動] 「裂く、分割する」(直説法所相三人称単数全分過去)
- 3 teui < tenuis [形] 「薄い；少ない、些細な；繊細な」(女性単数奪格) 65-4 rima を修飾。
- 4 rima < rima [名] f. 「裂け目、割れ目」(単数奪格) 65-1・2 fissus erat を修飾。
- 5 quam < qui [関代] 女性単数対格。先行詞は 65-4 rima。65-6 duxerat の目的語。
- 6 duxerat < duco [動] 「導く、引っ張る；促す」(直説法能相三人称単数全分過去) 66-2 fieret と共に主述部。66-3 paries を受ける。*「獲得する」の謂。

- 7 olim [副] 「当時、嘗て；時折；ずっと；いつか」65-6 duxerat を修飾。

66

- 1 cum [接] 「~した時；~なので；~だけれども」
- 2 fieret < fio [動] 「起きる；作られる；なる」(接続法三人称単数不完了過去) *fio は現在・未来・不完了過去において facio の所相(受動態)として用いられる。
- 3 paries [名] m. 「壁」(単数主格) 65-1・2 fissus erat の主語。
- 4 domui < domus [名] f. 「家；住居；家庭」(単数与格) 66-5 communis の補語。
- 5 communis [形] 「共通の、一般的な」(男性単数主格) 66-3 paries を修飾。*与格を伴う。
- 6 utrique < uterque [代] 「(二者の)それぞれ、両方」(女性単数与格) 形容詞用法。66-4 domui を修飾。

67

- 1 id < is [代] 「この人(これ)、彼(彼女)」(中性単数対格) 形容詞用法。67-7 notatum と共に 67-2 vitium を修飾。
- 2 vitium < vitium [名] n. 「欠点；悪徳、罪」(単数対格) 68-6/ 69-3 vidistis, fecistis の目的語。*65-4 rima を指す。
- 3 nulli < nullus [形] 「誰(何)も~ない、一つの~もない」(男性単数与格) 名詞的用法。67-4 per と共に 67-7 notatum を修飾。*動作主を表す与格。
- 4 per [前] 「~を横切って；~を通して；~によって」対格支配(67-5 saecula)。

and the more (it was) covered, <the> more <their> covered fire blazed.
<The> wall common (to) both houses was flawed (with) <a> tiny
crack, which (it had) got formerly when (it had been) made.
This flaw, noticed (by) nobody over <a> long period,
lovers— what (does) love not sense?— (you) primarily saw
and made <it> <the> path (of) <your> voices, and through that, <your> secure
endearment (in) minimal murmurs were wont (to) traverse.

- 5 saecula < saeculum [名] n. 「生涯、世代；百年、世紀」(複数対格)
 - 6 longa < longus [形] 「長い；遠い」(中性複数対格) 67-5 saecula を修飾。
 - 7 notatum < noto [動] 「印を付ける；示す；注目する、気づく」完了分詞(中性単数対格)。
- 68
- 1 quid < quis [疑] 「誰(何)」(中性単数対格) 68-3 sentit の目的語。
 - 2 non [副] 「(全然)～ない」 68-3 sentit を修飾。
 - 3 sentit < sentio [動] 「感ずる；認知する；考える」(直説法能相三人称単数現在)
 - 4 amor [名] m. 「愛情；欲望」(単数主格) 68-3 sentit の主語。
 - 5 primi < primus [形] 「最初の；第一の」(男性複数主格) 叙述的用法。* 68-7 amantes に対する言葉なので、男性複数形をとる。
 - 6 vidistis < video [動] 「見る；認知する；〈所〉見える」(直説法能相二人称複数完了過去) 69-3 fecistis と共に主述部。
 - 7 amantes < amans [形] 「愛している；〈名〉愛人」(男性複数呼格) 名詞的用法。* amo の現在分詞。55-1・2・3 Pyramus et Thisbe に対する呼びかけ。
- 69
- 1 et [接] 「そして、また」
 - 2 vocis < vox [名] f. 「声、音；言葉、発言」(単数属格) 69-4 iter を修飾。
 - 3 fecistis < facio [動] 「建設する；為す；
- 製造(製作)する」(直説法能相二人称複数完了過去)
 - 4 iter < iter [名] n. 「旅；道、経路」(単数対格) 69-3 fecistis の補語。
 - 5 tutaeque (= tutae + que) < tutus [形] 「安全な」(女性複数主格) 70-2 blanditiae を修飾。
 - 6 per 67-4 参照。対格支配(69-7 illud)。70-4 transire を修飾。
 - 7 illud < ille [代] 「あれ、それ；彼(彼女)」(中性単数対格) 69-4 iter を指す。
- 70
- 1 murmure < murmur [名] n. 「眩き、唸り、呻き声」(単数奪格) 70-2 blanditiae を修飾。
 - 2 blanditiae < blanditia [名] f. 「愛撫、追従；甘言、睦言」(複数主格) 70-5 solebant の主語。
 - 3 minimo < parvus [形] 「小さい、些細な；短い；〈名〉些細なこと」最上級(中性単数奪格)。70-1 murmure を修飾。
 - 4 transire < transeo [動] 「通過する；変化する」(不定法現在) 70-5 solebant の補語。
 - 5 solebant < soleo [動] 「～し慣れている、～する習慣である」(直説法三人称複数不完了過去) * 不定法を伴う。